

様式 1 号
(総括票)

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	トピーファスター工業株式会社					
代表者名	氏名	小林弘侍	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市笹賀5652-36					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	2 4 金属製品製造業				
主たる事業の概要	工業用ファスター（関連金属加工製品を含む）、自動車用部品の製造販売					
制度に該当する要件	☒	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	☐	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	☐	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1, 627	1, 578	1, 713	1, 676	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3, 266		3, 439	3, 364	
調整後排出量	t-CO ₂	3, 266	3, 168	3, 439	3, 364	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	8		8	8	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	10				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2022 年度	計画期間	2023 年度～ 2025 年度
報告対象年度	2024 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

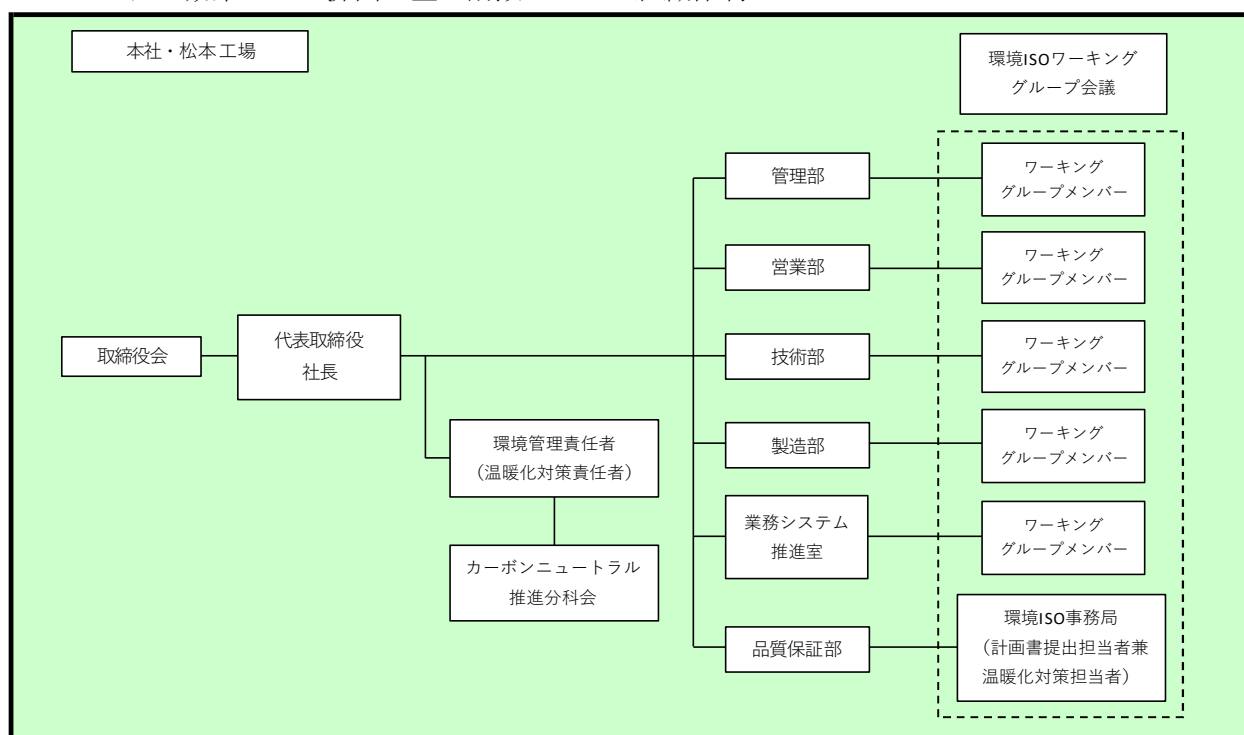
☒	ホームページ	http://www.topy-fas.co.jp
☐	印刷物の閲覧	
☐	その他	

様式 1 号
(総括票)

4 温室効果ガスの排出の量の削減のための基本方針

・生産活動における不良率低減 ・生産効率向上による省エネ ・設備導入時、CO2排出量の少ない／エネルギー効率の良い設備の選定 ・省エネタイプの照明器具の設置拡大 ・身近で出来る省エネ活動の継続						
2050ゼロカーボンに向けた中長期的な目標等						
目標等の有無	有	目標年度	2030	年度	削減目標	CO2排出量46%削減（2013年度比）
削減計画の概要	2030年度にCO2排出量を2013年度比で46%削減する。 ・照明のLED化やエアコンの更新等のエネルギー使用量削減の諸策を進め、2030年に46%削減に不足する分は、再生可能エネルギーを購入する。					
イニシアチブ参画状況	☐ SBT	☐ RE100	☐ 再エネ100宣言 RE Action	☐ その他		

5 の 1 温室効果ガスの排出の量の削減のための組織体制



5 の 2 温室効果ガスの排出の量の削減のための会議体等の名称及び開催頻度

・カーボンニュートラル推進分科会	〔開催頻度：1回／年〕
・環境ISOワーキンググループ会議	〔開催頻度：1回／3ヶ月〕

6 の 1 エネルギー起源二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,266	t-CO ₂	生産重量	2,396.00	単位	t
2022年度	調整後排出量	3,266	t-CO ₂	基準原単位	1.36	t-CO ₂ /	t
目標年度	目標排出量 (調整後排出量)	3,168	t-CO ₂	目標原単位	1.35	t-CO ₂ /	t
2025年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	1.00	%	
目標設定に関する説明	照明のLED化等の省エネ投資を進め、また生産活動における不良率低減、及び身近に出来る省エネ活動に取り組み、3年間で3%の排出量削減及び3年間で1%の原単位削減を達成する。						
第一年度	排出量	3,439	t-CO ₂	生産重量	2,610.00	単位	t
	削減率	-5.30	%	原単位	1.32	t-CO ₂ /	t
2023年度	調整後排出量	3,439	t-CO ₂	原単位削減率	2.94	%	
	削減率	-5.30	%				
排出量等の増減理由	受注増に伴い生産量が増え、エネルギー起源のCO2排出量は増加した。しかし生産増により効率的な生産ができたこと、熱処理炉の断熱ジャケット装着や、照明のLED化等のエネルギー使用量削減策の効果もあり、結果的に原単位は2.9%削減できた。						
第二年度	排出量	3,364	t-CO ₂	生産重量	2,481.00	単位	t
	削減率	-3.01	%	原単位	1.36	t-CO ₂ /	t
2024年度	調整後排出量	3,364	t-CO ₂	原単位削減率	0.00	%	
	削減率	-3.01	%				
排出量等の増減理由	受注減に伴い生産量が減り、前年度に比べエネルギー起源のCO2排出量は減少した。これまでに実施してきたエネルギー削減施策も、排出量の削減に一定の効果をもたらしていると考えられる。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産重量		単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式 1 号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量の削減に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2023年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2024年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2025年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

6 の 3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出の量の削減に係る目標及び実績

基 準 年 度	基準排出量	10	t-CO ₂			単位	
2022 年度	調整後排出量			基準原単位		t-CO ₂ /	
目 標 年 度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2023 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2024 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	調整後排出量			原単位		t-CO ₂ /	
2025 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
Ⅰ～Ⅱ	Ⅰ-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	Ⅰ-2	エコドライブの励行						
Ⅲ	Ⅲ-1	次世代自動車の導入計画						
Ⅳ	Ⅳ-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出の量の削減目標達成のための具体的な措置

番号	区分	設備等	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	生産設備	エネルギー使用量の管理	2023～ 2025		2023～ 2024	
2	エネ起	コンプレッサ	エネルギー使用量の管理	2023～ 2025		2023～ 2024	
3	エネ起	照明設備	運用管理	2023～ 2025		2023～ 2024	
4	エネ起	事務用機器	運用管理	2023～ 2025		2023～ 2024	
5	エネ起	照明設備	蛍光灯のLED化	2023～ 2025		2023～ 2024	17
6	エネ起	工業炉	断熱ジャケットの装着	2023	77	2023	77
7	エネ起	空調機	ボイラー暖房からエアコンへの更新	2023	21	2023	21
8	エネ起	空調機	老朽化エアコンの更新	2024～ 2025		2024	7
9							
10							

9 再生可能エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

再生可能エネルギー源	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	kW	0	0			
水力	kW	0	0			
風力	kW	0	0			
バイオマス	kW	0	0			
太陽熱	kW	0	0			
その他	kW	0	0			
蓄電設備	kWh	0	0			

10 再生可能エネルギー電気等及びクレジットの利用の計画及び状況

種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書(電力)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
グリーンエネルギー証書(熱)	GJ/年					
FIT非化石証書	千kWh/年					
非FIT非化石証書(再エネ指定)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					
J-クレジット	t-CO ₂ /年					
県が認証したクレジット (森林CO ₂ 吸収評価認証制度等)	t-CO ₂ /年					
再生可能エネルギー電気 (自家消費、PPA、自己託送等)	千kWh/年					
再生可能エネルギー電気 (小売電気事業者からの買電)	千kWh/年					
うち県内産	千kWh/年					

様式 1 号
(総括票)

1 1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000kl以上								
1,500kl以上 3,000kl未満	1	3,238	1	3,411	1	3,338		
1,500kl未満	2	27	2	28	2	26		
合計	3	3,266	3	3,439	3	3,364		

1 2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	

1 3 次世代自動車の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	6	6	6	
合計	6	6	6	0
自動車総数	8	8	8	
次世代自動車導入割合	75	75	75	

様式1号
(総括票)

1.4 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	該当なし
自転車の利用促進	従業員用の駐輪場を整備している
来客者の交通対策／社用車等の移動に伴う取組	該当なし
電気自動車用充電設備の設置／電気自動車の導入	該当なし
物流の合理化	まとめ受注推進による輸送頻度の削減

1.5 環境配慮活動状況

環境配慮活動		活動内容の詳細	
		実施内容	実施年度
☒	SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している	2022～
☐	TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している	
☒	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している 名称 ISO14001	2001～
☐	グリーンボンド・ESG投資	グリーンボンドを発行している又はESG投資を実施している	
☐	ZEB	の認証を取得している	
☒	ダイヤモンド・リスポンス（DR）	電気の需要の最適化に資する措置（上げDR・下げDR）を実施している	2022～
☒	その他	グリーン購入を社内で推奨している	2001～

1.6 自由記載欄（特に重点的に取り組んだ内容やアピール事項等）